

車夫は、日焼けしたのかとても「真っ黒け」な人であった。

今村さんの家は散髪屋であった。

高塚さんと、今村さんの間には、日吉神社辺りからの伏流水が川になって流れ、子供心にはとても激しい流れであった。

日吉神社は大きな鳥居が、子供心にも自慢であった、北側の犬丸家の、犬丸徹三は帝国ホテルの支配人をされ、「日本のホテル王」と呼ばれた、福嶋自慢の出世者であった、人の寄付されたものであった。

北隣は、犬丸家の住宅であり、重厚な福嶋には珍しい石の塀が長く第二道路まで連なっている。

犬丸徹三氏が、母校の浜校に、当時としては貴重なグランドピアノを寄付され、お披露目の演奏会があったのは、四年生頃であった。

福里さんの家は今は他人の家になっているが、昔のままである。

昔の家は、玄関に大戸があり、普通は土間なり、石畳が家の奥まで貫いており、石畳の右左に座敷なり居間があつて、片側は茶の間や、炊事をする部屋に分かれているのが通常であった。

森さんの家は、昔から「銭湯」であつたらしく、過去の「根上町史」編集時には、西二口の池田先生が、田んぼ道を辿つて福島の「さくら湯」に行くのが楽しみの一つであつたと言つたのであつた。

農民が銭湯に行くのが、重大事であつたのだろうか。

